

子牛の増体が優れた麦焼酎粕濃縮液と稲WCSを主体とした混合飼料

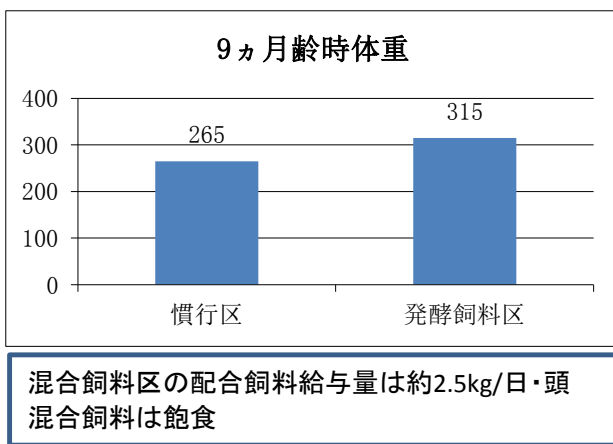
畜産研究部 飼料・環境チーム

1. 研究の背景

近年、生産が増加している稲WCSは、嗜好性は優れるが、タンパク質含量が低い。麦焼酎粕濃縮液はタンパク質含量が高いが、水分含量が高く、他の飼料との混合が必要であることから、これらの飼料を主体とした飼料を開発することを目的とした。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

稲WCS65%、麦焼酎粕濃縮液及び麦圧ペン35%を混合し、細断型ロールペーラにより調製したロール形状の発酵飼料である。開封後の品質劣化が遅く、1週間以上品質を保つ。子牛9頭の9ヵ月齢時の平均体重は、315kgであった。配合飼料を35%程度削減可能である。



開封日 pH3.83
7日後 pH3.79

空気につれる面を削り落とす用に利用することで品質低下が遅くなる。

3. 期待される効果

子牛の発育促進による所得向上が期待される。肥育期間中の増体も優れる。配合飼料の給与量が削減可能であることから、輸入飼料に依存しない肉用牛生産につながる。

4. 担当機関連絡先

畜産研究部 飼料・環境チーム

TEL：0974-76-1248

住所：大分県竹田市久住町大字久住3989-1